

# 蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく

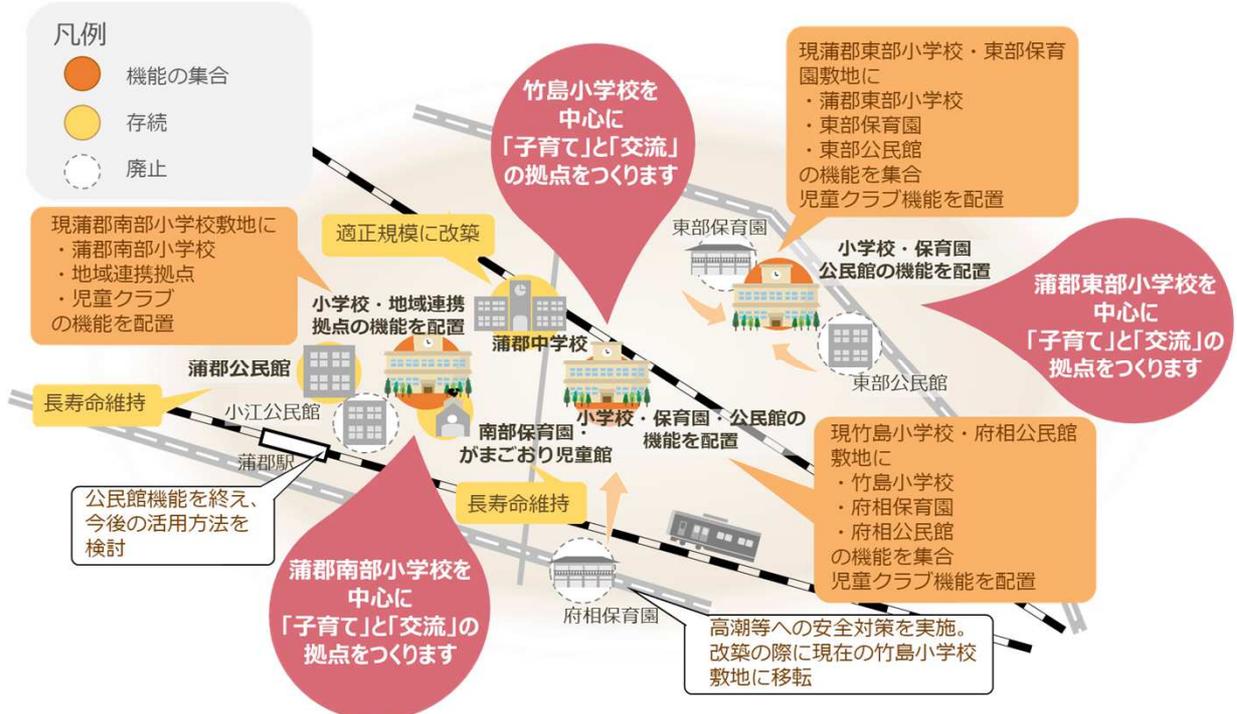
## 蒲郡南地区個別計画

### コンセプト

小学校区ごとのまとまりを維持し、「子育て」と「交流」の拠点をつくる

### 施設再編の内容

- 蒲郡東部小学校・東部保育園・東部公民館の機能を現在の蒲郡東部小学校及び東部保育園の敷地に集合させ、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 府相保育園は高潮等浸水への安全対策を行い、適切な建替え時期まで維持します。施設の改築を行う際には、現在の竹島小学校と府相公民館の敷地に移転し、小学校・公民館の機能と集合させ、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 地域連携拠点（公民館活動や地域と連携できる場所）の機能を蒲郡南部小学校の敷地に設置し、隣接する南部保育園・がまごおり児童館との連携を図ることで、「子育て」と「交流」の拠点を形成します。
- 児童クラブの機能は、各小学校と同じ敷地に設けます。
- 蒲郡中学校は、現地で適正規模に改築します。
- 南部保育園・がまごおり児童館・蒲郡公民館は、現地で長期にわたって利用できるような適切に維持していきます。
- 小江公民館は社会教育施設としての公民館機能を終え、建物の地元自治会への譲渡も含めて今後の活用方法の検討を開始します。



## 期待される 効果

### 子育て環境の充実

- 児童クラブと保育園が近くにあることで、保護者による送迎等の負担が軽減します。
- 保育園と小学校が連携しやすく、子どもの進学がよりスムーズになります。
- 児童クラブを小学校と同じ敷地に設置することで、交通事故など移動時の危険がなくなります。

### 交流の活性化

- 集まりやすい位置に日常的に多くの人を訪れる拠点ができることで、地区住民同士の交流が活発になります。
- 現在の小学校区程度の範囲での行事や活動の際に、体育館やグラウンドなどの学校施設を利用しやすくなり交流機会が充実します。

### 活動の拡大・充実

- 施設や設備の相互利用や運営面での連携により、特別教室での地域活動など、各施設の活動の幅が広がります。
- 高齢者が地域の活動に関わる機会や子育て世代が同世代で集まる機会など、利用者の活動機会が増えます。

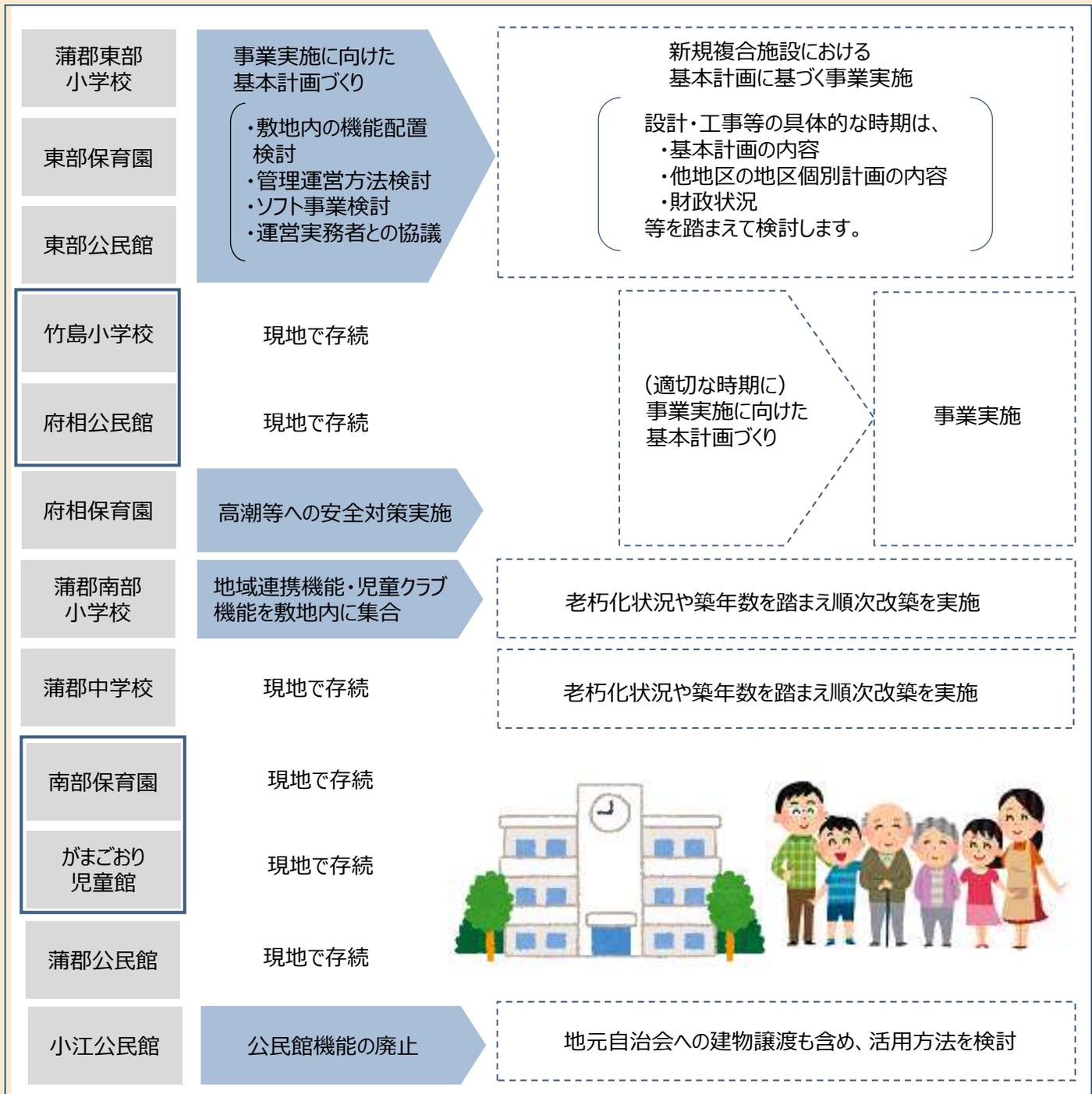
### 費用の縮減

- 施設の共用や規模の適正化により維持更新費用が縮減できます。また、運営の効率化や一元的な管理により、運営面での費用の縮減が可能となります。

- 施設整備についての詳細な検討を行う中で、駐車場・グラウンドなど、必要な機能を確認し機能の維持に努めます。
- 子どもの安全確保や学校教育に支障が出ないよう十分に配慮して、施設の設計や運営方法の検討を進めます。
- スペースの相互利用や運営での連携が円滑に行われるよう、設計上の工夫を行います。
- 学校と地域の連携を深め、交流を促進できるよう、人員体制や運営体制を整えます。
- 蒲郡南部小学校の周辺道路環境の改善を検討し、安全と利便性の向上に努めます。
- 施設の整備に際して、若い世代が交流活動や学習活動で利用しやすいよう機能や運営方法を考えます。

## 整備を 進める上で 配慮すること

# 施設整備についての今後の取り組み



## 本計画の見直しについて

- 本計画は、今後の社会状況、経済・財政状況、ニーズの変化に対応するため、見直しを行い内容を変更する場合があります。

### 蒲郡市公共施設マネジメント実施計画に基づく蒲郡南地区個別計画

発行 愛知県蒲郡市  
愛知県蒲郡市旭町17番1号  
TEL 0533-66-1111 (代表)

発行年月 令和4年12月



## 地区の皆様の思い

蒲郡市では、小中学校・保育園・児童館・公民館の再編にあたり、地域の特性や特徴を施設に反映し、再編がまちづくりにつながるように、地区の住民の皆様のご意見を伺う機会を設け、市民協働により、中学校区を単位とした「地区個別計画」を策定することとしています。

蒲郡南地区の皆様のご意見を伺う機会として、「蒲郡南地区まちづくりと公共施設の将来を考えるワークショップ」を平成30年7月から平成31年2月にかけて開催しました。また、オープンハウス（パネル展示型説明会）を地区内4会場で開催し、ワークショップ参加者以外の方のご意見を広く伺いました。

地区の皆様のご期待をもとにして、市は、この「蒲郡南地区個別計画」を策定しました。

以下は、ワークショップに参加された皆様から蒲郡南地区の将来を考える上で重視することとしていただいたご意見です。

## 子育て

### 充実した保育サービスの提供

- 共働き家庭が当たり前になっているため、保育のサービスが充実すると良い。

### 子どもの遊び場

- 子どもを遊ばせることのできる児童館は子育て世代にとって重要な施設である。

### 送迎の利便性

- 小学校と保育園が隣り合っていると、一度に送迎ができ、保護者はかなり楽になる。

### 保育園の駐車場確保

- 保育園は車で送迎が多く、立地よりもサービス・設備を重視して選択しているようだ。複数の保育園を設置するよりは、大きな敷地に集めた方が車で利用しやすく効率的だ。
- 保育園の駐車場が不足しており、送り迎えの際に不便だ。

### 子どもたちの利便性

- 小学校と児童クラブは同じ敷地にあるほうが子どもの移動の負担もないので良い。
- 小学校は徒歩で通える近い距離にあるほうが良い。

## 学校

### 学校の適正規模化

- 公共施設の中で学校の占める割合は高く、今後児童・生徒数の減少も予測されるので、学校を適正規模にしていくことは教育的視点・公共施設の維持管理にかかるコストの視点両方から必要だ。

## 交流

### にぎわい・交流づくり

- 一つの場所でいろいろなことのできる多機能施設があると良い。様々な目的で多様な人が集まることで賑わいや交流が生まれる。
- マルシェなどの賑わい作りを公共施設で行い、地域住民が集う場を作っていけると良い。

### 子どもとのつながり

- 部活動などの教育現場に、もっと市民に関わってもらうことが、子どもたちの教育に良い影響を及ぼすと思う。

### 世代間交流

- 子育て施設と高齢者の利用する施設を集めれば、新たな交流が生まれ相乗効果があるのではないかと。
- 公民館で高齢者と小中学生の交流をすれば利用促進になる。
- 世代間交流とは別に、世代毎に交流できる場所があると地域活動は盛んになる。
- 府相公民館と竹島小学校の連携が今後の公共施設再編のモデルケースになればと期待している。

### 中高生の居場所

- 中高生が自由に勉強やおしゃべりができる場が公共施設にあるかも重要だ。

## 居場所づくり

### 高齢者の居場所

- アクセスが良い場所に高齢者が集う場所を作り、高齢者と地域との関わりを持続させ、孤立化を防ぎたい。

### 地域の拠点

- 小江地域には集会所がなく公民館がその役割を担っている。お祭りで利用しているため、現在の場所から移転させることは難しいが、必ずしも公民館である必要はない。

## 地域の まとめ

### 東部地域のまとめ

- 東部小学校区と他小学校区は少し離れているため別のエリアだという認識だ。東部地域として結束している。

### 通学の安全

- 南部小学校周辺は一方通行が多く道幅も狭い。利用者が増え、車の通行も増加するのであれば、通学路を含め安全への配慮が必要だ。

## 防災・防犯

### 学校のセキュリティ

- 学校と他施設の機能を集めるのであれば、セキュリティ・安全への配慮が必要だ。

### 府相保育園の移転

- 府相保育園は、高潮浸水想定域内に位置しており、安全確保の点で心配だ。

- ◆ ワークショップでのご意見の詳細やオープンハウス（パネル展示型説明会）でのご意見等は、市ホームページに掲載しています。